

## 市営住宅受水槽・高架水槽清掃業務仕様書

1 業務場所：別紙「市営住宅受水槽・高架水槽清掃業務」による。

2 対象設備：別紙「市営住宅受水槽・高架水槽清掃業務」による。

### 3 業務内容

(1) 市営住宅における受水槽・高架水槽の清掃、点検に係る業務を行うものである。

(2) 本仕様書に記載のない事項は、「建築保全業務共通仕様書（最新版）（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）」（第2編第4章第5節4. 5. 2受水タンク及び高置タンクの清掃）の項による。

(3) 作業にあたっては、「水道法」「長崎市小規模貯水槽水道等の維持管理に関する要項」等関係法令を遵守すること。

(4) 清掃完了後、受水槽、高架水槽及び給水立管の水抜きを行った末端の給水栓で採水し、検査機関による検査8項目（一般細菌、大腸菌、pH値、遊離残留塩素、味、臭気、色度、濁度）を受けること。採水にあたっては、末端給水栓における水の遊離残留塩素濃度を0.2mg/l（結合残留塩素濃度にあつては1.5mg/l）以上とすること。以下の場合には作業をやりなおすこと。また、検査機関には速やかに検水を提出すること。

(5) 上記の検査は、地方公共団体の機関又は厚生労働大臣の指定するものをもって行うこと。

(6) タンク以外の給水設備（給排水管・弁、揚水ポンプ・加圧ポンプ、加圧タンク等）を含め、不良箇所があった場合は、速やかに市に報告すること。写真を添付すること。

#### (7) 作業報告書

ア 団地別、棟別の報告書。報告書には、作業当日在宅の入居者に確認の署名をしてもらうこと。

イ 各槽ごとに、清掃前・後状況、採水状況を撮影した写真。その際、黒板に作業日・団地名・棟名・会社名を記入した黒板を入れること。

ウ 貯水槽内外の点検結果及び設備の問題点について記載した一覧表。

エ 水質試験成績書。